

(仮称)

高津大山街道

発行元：高津区役所
発行日：平成20年7月

1号

マスタープランNEWS 策定委員会

「高津大山街道マスタープラン 策定委員会」がはじまりました



マスタープランは、高津区として大山街道周辺のまちづくりの目標や方向性を行政計画としてまとめるもので、今後の具体的な取り組みの基となる重要なものです。今年度1年間かけて検討していきます。

検討にあたっては、学識経験者、地域代表、公募区民、行政の関係所管の代表などからなる策定委員会を中心に、地域の皆様の声を大切にしながら進めていきます。



6月24日に、第1回「高津大山街道マスタープラン策定委員会」を開催しました。

高津大山街道マスタープラン策定委員会 委員

- 小林 正美 (明治大学理工学部教授)：委員長
- 島崎 光順 (大山街道活性化推進協議会委員長)：副委員長
- 荻原 礼子 (まちづくりプランナー、結まちづくり計画室代表)
- 鈴木 敏夫 (大山街道活性化推進協議会副委員長・溝口大山街道振興会会長)
- 原 賢之助 (大山街道活性化推進協議会副委員長・二子大通り商和会会長)
- 岡野 洋貴 (高津区商店街連合会会長、大山街道景観形成協議会会長)
- 伊東 朋子 (公募)
- 佐方 克彦 (公募)
- 小林 しのぶ (区長推薦)
- 田村 豊 (経済労働局商業観光課長)
- 和田 忠也 (まちづくり局景観・まちづくり支援課長)
- 島田 秀雄 (教育委員会文化財課長)
- 井澤 正勝 (高津区役所副区長)

委員長あいさつ

マスタープランは、来年度以降具体的な施策として動いていきます。建築設計やまちづくりの専門家として、これまでの経験を活かして取り組みたいと思います。



高津大山街道でのこれまでの取り組みとマスタープランの策定に向けて

高津大山街道では、既に様々な取り組みが行なわれています。マスタープランの策定にあたってはこれらを十分に踏まえて、検討を進めていきます。

大山街道の課題

消え行く歴史的な資源

歴史的建物は、老朽化による建替えやオーナーの世代交代、道路整備などを契機に相次いで姿を消してきた。

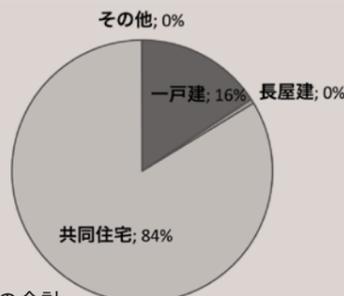
現在では歴史的な資源は数えるほどになっている。



- H12年：大貫家蔵取壊し
- H13年：池田屋染物店閉店
- H14年：亀屋会館閉店（後に取壊し）
灰吹屋高津本店が溝口駅前に移転
- H16年：甲州屋本店が移転
- H17年：亀屋会館取壊し
- H20年：岩堀履物店（蔵）取壊し

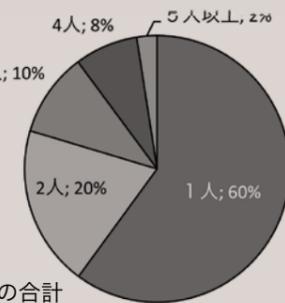
マンション化が商店街衰退を加速

買いまわり型の路線商店街の衰退は大山街道も例外ではない。立地条件の良さから、マンションへの建替えと同時に廃業してしまう例が多い。



住宅の建て方別主世帯数
平成17年度国勢調査
二子1,2、溝口2,3,4丁目の合計

1人世帯もしくは2人世帯の割合が高い（全体の8割）。



世帯人員別の世帯数
平成17年度国勢調査
二子1,2、溝口2,3,4丁目の合計

交通混雑・歩行の危険が増大

大山街道は緩やかに湾曲した形態をもち、幅員は約7.27mと狭い。通過交通量は1日約1万台あるが、幅員が狭いため、歩車分離は難しく、人身事故や車両事故が増えている（通過交通は平成15年交通センサスより）。



歩きたくなる高津 (H15年度)

高津まちづくりビジョン委員会
『みんなが行きたい大山街道～訪ねて楽しいにぎわいのシンボルストリート～』

高津大山街道活性化プラン (H17年)

将来像

大山街道活性化推進協議会
(大山街道サミット)

暮らして安心 訪ねて楽しい 大山街道

- ・住民が地域に誇りと愛着を持ち、安心して暮らせるまち
- ・多くの来街者が訪れ、憩い、学び、楽しめるまち
- ・住民と来街者の交流で「心の活性化」と「経済の活性化」が実現するまち

目標

誰もが安心・安全に歩ける「道づくり」

⇒将来像実現のための基盤となる道の整備

多くの人々に大山街道の魅力を「知らせる」

⇒資源の確認、情報発信、PR

多くの人々に大山街道を

訪れてもらい「楽しませる」

⇒もてなしの心の発揮、交流ビジネスの振興、受け入れ体制の確立

目標実現のためのアクション

・高津大山街道を“暮らして安心、訪ねて楽しい”街道にするために、次のようなアクションを実践する。

1. 「道づくり」アクション
2. 「知らせる」アクション
3. 「楽しませる」アクション



第1回委員会で出た意見

マスタープランの検討に向けて

- ・安全や歴史という1つの視点からみているには限界がありそうだ
- ・歴史ある地域だが、新しくても良いものがあることに気づいた
- ・歴史あるものを残せるような支援策を考えていきたい
- ・マンション化は仕方ないが、文化の香りの残る街にしたい
- ・子どもたちが「ふるさと」を感じることでできる街にしたい
- ・街道から一歩脇に入ると緑があってホッとするとする。面的な回遊性も含めて考えていきたい。

その他の大山街道に関する計画や構想

- ・高津まちづくり白書 キラリたかつ、平成5年9月、高津区
- ・川崎市文化マスタープラン、平成9年3月、川崎市市民局市民文化室
- ・歴史を生かしたまちづくり手法の検討—大山街道をケースとして—、平成14年3月、政策課題研究チーム
- ・「みんなが行きたい大山街道」に関するデザイン提案、平成16年3月、社団法人かながわデザイン機構
- ・かわさき観光振興プラン、平成17年6月、川崎市経済局産業振興部
- ・川崎市都市計画マスタープラン・高津区構想、平成19年3月、川崎市まちづくり局計画部都市計画

すでに取り組みされているアクション

○大山街道都市景観形成地区指定



・既成市街地における地区指定は市内で初めてであり、全市的に注目されている。

○大山街道マップの作成と配布



・街道沿いの資源や公共施設を掲載したマップ。好評で増刷を重ねている。

○史跡案内版と道案内サインの設置



・栄橋交差点では、新たに設置された史跡案内板が来訪者を迎える。

○口上書きの設置



・沿道の商店の歴史や由来を紹介する。

○大山街道掲示街路灯巻き



・赤地に黒文字という目立つ配色と、毛筆の書体、木刀を担いだキャラクターによる親しみやすいデザインになっている。

○ホームページの開設



・文章作成やページデザインまで、すべて区民の手づくり。

○「大山街道フェスタ」の開催

・「地域住民ふれあいのきっかけ」を合い言葉に、毎年2月に開催される。高津ゆどうふの無料配布、フリーマーケットなどが行なわれる。

○高津区民祭への参加

○Buyかわさきinたかつへの参加

○デジタル画集の作成 など

これらを受けて区は、「高津大山街道マスタープラン」を策定します

2008年度

1 行政計画としてのマスタープランを策定します

- ・予算の確保やスケジュールの進行管理を担保し、魅力ある街道づくりの実現の可能性を高める。
- ・歴史的資源の保全・活用策や、推進体制づくりなどを検討する。

2 先行的なモデル事業を実施します

- ・着手可能な事業については、先行的、モデル的に実施する。また、事業の効果を計りつつ、さらなる事業の立案へと結び付ける。

2009～2010年度(案)

マスタープランをもとに、関係局と連携して、街なみ景観の形成、歴史的資産の保全・活用策に取り組みます。

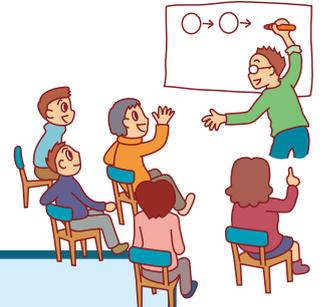
- ・高津区の顔である歴史的資産の保全策の推進や、資産を活かした景観形成の促進など、魅力的な空間創造を進める。

NEWSでは、委員会での議論を伝えていきます！

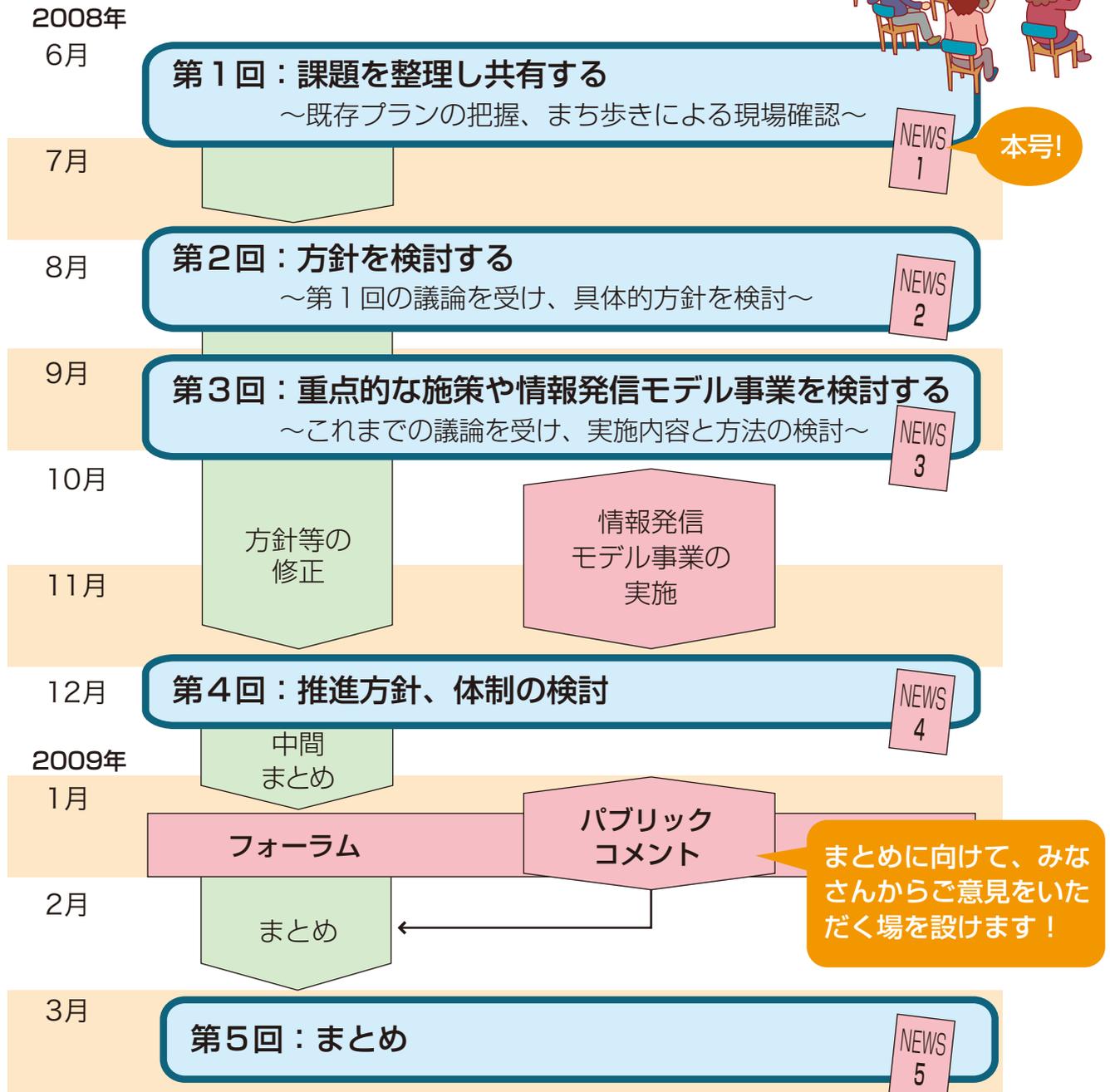
全5回の委員会で議論された内容は、各回通信でみなさんにお伝えします。

また、当委員会は傍聴できます（定員10名）。開催日時等は、川崎市ホームページ「会議開催のお知らせ」（<http://www.city.kawasaki.jp/16/16gyozyo/home/koukai/kaigi.htm>）を御確認ください。

このほか、1月には、中間まとめを公表し、みなさんからのご意見をいただく場として、パブリックコメント、フォーラムを実施予定です。



<今後のスケジュール>



お問い合わせ先：

高津区役所 地域振興課

電話 044-861-3133 ファックス 044-861-3103

Eメール 67tisin@city.kawasaki.jp

ホームページ <http://www.city.kawasaki.jp/67/67tisin/home/ooyama/>